
共感と否定を拒絶し、虚無に浮いた自分が人なのだと確信した時。

嘩月ーka「d/z」ukiー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

共感と否定を拒絶し、虚無に浮いた自分が人なのだと確信した時。

【Nコード】

N3038Q

【作者名】

嘩月ーk a「d／z」u k iー

【あらすじ】

ー
ー
ー
ー
ー
ー
ー

静かに目が零れ、地に伏す黒き瞳。
鮮やかへと、溶ける。

人が見えなくなったのは何時からだろうか。

溶けた目達が泣いた夜、白黒だったのかと夢想。
廃れた現実を重ねる。

無機質な星空の下、液状の目から産まれ出ずるは絶望の塊。

途切れた光りなど知るはずもなく、哀しくて笑えた。

広すぎる闇が可笑し過ぎて……。

脈打つ心臓を忌み嫌い、ただ見つめ続けた。

月の無い夜。

存在の無い夜。

傷口には屍の花。

剃刀から朽ちたまま滴る。

もう、嗚呼……、嘲笑う。

この声は何を見てる？

もう、嗚呼……、枯れ涙。

流す価値さえ該当しない。

もう、嗚呼……、絶望製の義眼が染まる世流……。

もう、嗚呼……——。

殺し戯の今に、浮く人。

(後書き)

剃刀↓(かみそり)

滴る↓(したた)る

嘲笑う↓(あざわら)う

戯↓(あじゃれ)

造語。

世流↓(よる)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3038q/>

共感と否定を拒絶し、虚無に浮いた自分が人なのだと確信した時。

2011年1月26日03時28分発行